



らいおんぐみクラスだより

令和2年9月15日(火) 担当：新垣楓

9月に入りまだ、コロナウィルスの影響で全員が揃うことができない状況が続いても残念です。子ども達も登園していない子の名前を口に出し、「はやく会いたいな〜」「いっぱい休みして何してるのかな。」と気にかけて寂しそうにしている様子も見られます。「〇〇さんがきたら、〇〇してあそぼうぜー。」など登園してくることを楽しみに待っています。久しぶりに登園してきた子には、「おおおー！」と大喜びですぐ遊びに誘ったりし、お互いがとても嬉しそうです。

行事なども、中止が続く子どもたちの残念がる姿が見られますが、感染予防に気をつけながら子ども達とできることを一緒に園生活を楽しく過ごしていきたいと思えます。引き続き感染予防としてマスクの着用・手洗い・うがい・消毒のご協力よろしくお願いします。



なごみチーム

先日、2人1組でバスタオルを使った運動遊びをしました。バスタオルの端をそれぞれ持ち、その上に結んだタオルをのせ投げてキャッチする遊びなのですが、初めは二人の息がなかなか合わず、上手くキャッチできない子がほとんどでした。「どうやったらキャッチできるか」と子ども達に問い、実際に保育士がいくつか見本をせることで、「せーのっで一緒に言う！」と気づいた子ども達。二回目に行った時には、お互いに意識しながら「せーの！」と声を合わせて、投げてキャッチを見事成功し喜び合う姿が見られました。このような運動遊びを通して、自分の思いだけでなく相手の思いにも目を向けたり、お友達と協力し合う事を、楽しみながら経験していけたらいいなと思っています。

きらりチーム

暑い日が続く、園庭では子ども達と水遊びや、泥んこ遊びを楽しんでいます。らいおん組さんのほとんどの子が泥んこ遊びが苦手で自分から入ろうとしない子が多くいます。石鹸・たらい・おままごとの人形の洋服を用意する事で、ぬれる事が苦手だった子たちも自ら参加し、自分たちで洗濯ごっこが始まっていました。日常での、お母さんの洗濯の仕方を見ているのか、両手で布をこすり汚れを落としたり、「ママはいつもこうやってるよ」と自分たちの洗濯の仕方を見せ合っている姿も見られました。終わった後は、「またやりたいね。」「楽しかった。」と子ども達同士会話をしていました。子ども達と、一緒に遊びながら泥んこ遊びの楽しさも伝えていけたらいいなと思っています。



★意識して取り組んでいる事★

日常生活の中で、お子さんと目を見て会話をしていますか？挨拶や・会話が目を見てすることが難しい子が多いように感じます。園では、帰りの会・朝の会を通して子ども達とは、目を見て話す・聞くという事を意識しながら取り組んでいます。お友だちとの会話でも継続することで少しずつ目を見て、話す・聞くことが上手になってきているよに感じます。忙しいときどうしても、目を見て、話す・聞く・挨拶をすることができていない時もあるかと思えます。できるだけ意識をし、ご家庭でも目をみながら会話・挨拶など心掛けてみて下さい。

